

# 情報連絡員総括表（2023年9月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移  
 ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 58名：回収率 96.7%）

○2023年9月のDI値は、前月との比較において、「雇用人員」「業界の景況」の2指標が改善。「取引条件」「収益状況」の2指標が横ばい。その他5つの指標が悪化した。依然として原材料価格の高騰が収益を圧迫している他、人材不足が深刻で“受注控え”を行っている業界も見られ、売上高の減少につながっている。

○「製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「資金繰り」「雇用人員」を除く6つの指標が悪化した。生産用機械器具製造業から「原材料の価格上昇を価格転嫁できず、採算は厳しい状況が続いている」とコメントがあるなど厳しい収益状況が続いている。また、木材・木製品製造業からは「住宅建築需要の低迷から、製材工場の稼働は低調のまま」印刷・同関連業からは「コロナ禍で宣伝広告費を節約するためにお客様自身で製作、印刷（ネット）を行っていたため、それが定常状態になっている」とコメントがあり、消費者や発注者の“節約”が他業界を苦しめる結果となっている。

○「非製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「資金繰り」の2指標が悪化し、その他6指標が改善した。各種商品小売業や宿泊業では、国や市が行う消費促進策により売上が増加しており、「ツアーが即時完売」など明るいコメントも見られた。一方、人材の確保は追いついておらず、鮮魚小売業からは「組合員企業の人材確保も非常に厳しい状況のため、売上の回復に対応できていない」職別工事業からは「人手不足を懸念したのか、受注控えをしている感がある」とのコメントがある。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年9月	-12.1	-4.7	27.6	-6.9	-27.6	-25.9	-30.0	-13.8	-25.8
2023年8月	-1.7	-9.1	31.1	-6.9	-27.6	-22.4	-16.7	-24.2	-25.9
増減	-10.4 ↓	4.4 ↓	-3.5 ↓	0.0 -	0.0 -	-3.5 ↓	-13.3 ↓	10.4 ↑	0.1 ↑

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2023年9月	-36.7	-26.7 ポイント	↘	14.3	7.2 ポイント	↗	-12.1	-10.4 ポイント	↘			
	2023年8月	-10.0			7.1			-1.7					
在庫数量	2023年9月	-10.0	0.0 ポイント	-	8.3	15.4 ポイント	↘	-4.7	4.4 ポイント	↘			
	2023年8月	-10.0			-7.1			-9.1					
販売価格	2023年9月	10.0	-10.0 ポイント	↘	46.4	3.5 ポイント	↗	27.6	-3.5 ポイント	↘			
	2023年8月	20.0			42.9			31.1					
取引条件	2023年9月	-10.0	-10.0 ポイント	↘	-3.6	10.7 ポイント	↗	-6.9	0.0 ポイント	-			
	2023年8月	0.0			-14.3			-6.9					
収益状況	2023年9月	-36.6	-3.3 ポイント	↘	-17.9	3.5 ポイント	↗	-27.6	0.0 ポイント	-			
	2023年8月	-33.3			-21.4			-27.6					
資金繰り	2023年9月	-26.6	0.1 ポイント	↗	-25.0	-7.1 ポイント	↘	-25.9	-3.5 ポイント	↘			
	2023年8月	-26.7			-17.9			-22.4					
設備操業度	2023年9月	-30.0	-13.3 ポイント	↘					-30.0	-13.3 ポイント	↘		
	2023年8月	-16.7							-16.7				
雇用人員	2023年9月	-16.7	3.3 ポイント	↗	-10.8	17.8 ポイント	↗	-13.8	10.4 ポイント	↗			
	2023年8月	-20.0			-28.6			-24.2					
業界の景況	2023年9月	-26.7	-3.4 ポイント	↘	-25.0	3.6 ポイント	↗	-25.8	0.1 ポイント	↗			
	2023年8月	-23.3			-28.6			-25.9					

## 今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
食料品	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
繊維工業	2	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	1	2	
木材・木製品	0	4	1	1	0	3	0	2	0	3	0	3	0	4	0	2	0	2	
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品	0	3	0	1	1	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	
鉄鋼・金属工業	0	4	0	1	0	1	0	1	0	4	0	2	0	3	0	1	0	2	
一般機器	0	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	3	
電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
輸送用機器	4	1	2	0	2	0	1	1	4	1	1	1	3	1	3	1	3	1	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
卸売業	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	X		1	0	0	1	
小売業	2	1	1	2	4	1	0	2	0	4	0	3			0	1	0	4	
商店街	1	1	1	0	4	0	0	0	0	1	0	1			0	0	0	1	
サービス業	3	0	X		3	0	1	0	1	0	1	1			1	1	0	3	0
建設業	1	3			2	0	0	0	1	1	0	1			0	1	0	2	0
運輸業	3	1	X		1	0	1	1	1	0	1	2	0	2	0	2	0	2	

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

パン	・政府が製粉会社などに売り渡す輸入小麦の価格が、小麦の国際価格の下落で10月から平均11.1%安くなり3年ぶりに値下がりとなる。しかし大手製パンメーカーでは「他に価格が高止まりしている原材料もあり値下げは考えにくい」との判断である。
織物業	・前月同様低位安定で推移、来年度の浴衣地受注も数量限定ではあるが受注が入り安定している。正絹物も同様に推移。
製材・木製品	・木造も含め住宅建築需要の低迷から、製材工場の稼働は低調のまま。
印刷・同関連業	・商業印刷において印刷屋離れがあると感じる。コロナ過で宣伝広告費を節約するためにお客様自身で製作、印刷(ネット)を行っていたため、それが定常状態になっていると思う(東部) ・直近3ヶ月は関東地区が好調、静岡地区は前年割れ(中部)
骨材・石工品等	・前期同様、売上が前年より減少しており、収益状況も悪化している。
金属製品	・著しい原材料高で、収益率が悪化。非常に厳しい状況。 ・冷蔵庫・エアコン市場の落ち込みに連動し、8~9月の生産は4~6月比で半減。
生産用機械器具	・原材料の価格上昇を価格転嫁できず、採算は厳しい状況が続いている。 ・8月、9月の仕事量が半減、このような状況が続くと会社自体が持たない。
電気機械器具	・8月の業界の国内出荷は昨年が高水準であったことと価格値上げ影響により金額では若干の減少であったが、台数は減少となった。 ・大型冷蔵庫の生産は昨年比では減少が続くが前月比ではプラスに転じた。 ・家庭用エアコンは流通在庫消化が優先されたことなどにより生産は大きく減少した。 ・業務用エアコンの生産は国内向け・輸出ともに前月同様に低調に推移した。
輸送用機械器具	・生産量は戻ってきたが、人手の確保が一番の課題となっている。

## 非製造業

セメント卸売業	・令和5年上期の出荷量は災害関連工事等により前年実績を若干下回るほどにとどまったが、今後の需要は不透明である。メーカー値上げの交渉が大詰めを迎えている。
鮮魚小売業	・行動制限の緩和により、個人消費を中心に売上也回復しているが、それ以上に仕入(水産物)原価の高価安定、エネルギー関連のコスト(特に冷凍・冷蔵庫等の電気料金)の上昇により、収益状況は厳しい状況が続いている。また、組合員企業の人材確保も非常に厳しい状況のため、売上の回復に対応できていない現状もある。
野菜・果実小売業	・前月に引き続き、酷暑の影響で全体的に物が少なく、価格が高値で推移している。
各種商品小売業	・9月22日から1か月間商店街イベントを行う。今回からデザインも変え、静岡新聞朝刊に折り込みしたためか、反響が大きい。事務局企画のツアーも、即時に応募が終了するほど人気の講座があった。イベントの開催で街の魅力をお伝えし、活性化につなげたい。
	・市民一人当たり6000円分の商品券が市から発行され、9月15日より使用可能となった。毎年9月上旬に行っていたセールを商品券発行後の9月下旬にずらし行った結果、前年より好結果が得られた。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比107.4%と増加した。市の宿泊応援キャンペーンの効果で集客が伸びている。グループ客も少しずつ増えてきている。雇用状況は、引き続き人手不足の状況。
	・全国割バス旅行支援が収益の底上げにつながった。インバウンド需要が増え、一般的に外国人観光客が目立つようになった。各種エネルギーの値上げや食材仕入れ価格の高騰が収益を圧迫している。
総合工事業	・9月に入っても燃料費の高値での推移、円安の改善が見られないので建築資材の値上げが続いている。民間工事の見積件数は増えているが、値段が合わずに契約にならない。
	・請求月が重なったため売り上げがかなり伸びたが、周りの受注等を聞くとあまり物件が出ていない様子。秋からの需要もあまり期待できそうもない。動いているのはより大きな建築物や鋼材を取り扱える上位工場ぐらい。
電気工事業	・資材の高騰が話題になっている。
職別工事業	・昨年と比べると現状ではそこまでの人手不足感はなく、おおむね順調に手持ち工事を消化できている模様。価格に関しては、下がることなく推移しており、皆人手不足を懸念したのか、受注控えをしている感がある。
道路貨物運送業	・輸送幹旋業務では、地域別では関東方面への車両情報が多く、成約件数も前年に比べて大きく増加した一方、関西方面は車両情報も少なく成約件数も若干減少傾向にあった。軽油仕入れ価格は補助金の延長に伴い、前月に比べて安く推移した。
	・軽油価格高騰とドライバー不足により、コストアップに拍車がかかり、2024年問題に向けての運賃アップが進んでいない。
	・軽油の値段がリーマンショック前の高騰時と変わらない値段となってきた。下期にかけて取引先が繁忙期になる予定のためトラックを購入したいが、納期不明の為、中古トラックを新車が来るまでの繋ぎで購入した。その中古トラック・市場含めて価格が上昇している。
	・最低賃金の値上げに伴い、業界内で人材確保の競争になっている様子。雇用条件が良いということは出費も多くなる場合が多いので資金繰りは悪化しているのではないかと。
道路旅客運送業	・8月の輸送人員・運送収入ともに対前年同月を上回ってはいるが、コロナ前との比較では輸送人員が▲30.2%、運送収入は▲26.4%で、7月のポイントよりも、▲5.0ポイント、▲3.6%といずれも後退している。9月11日に伊豆地区、9月25日に静岡地区で運賃改定が実施されたところであり、ドライバー不足を改善するためにも、収益の増加が大いに期待される場所である。

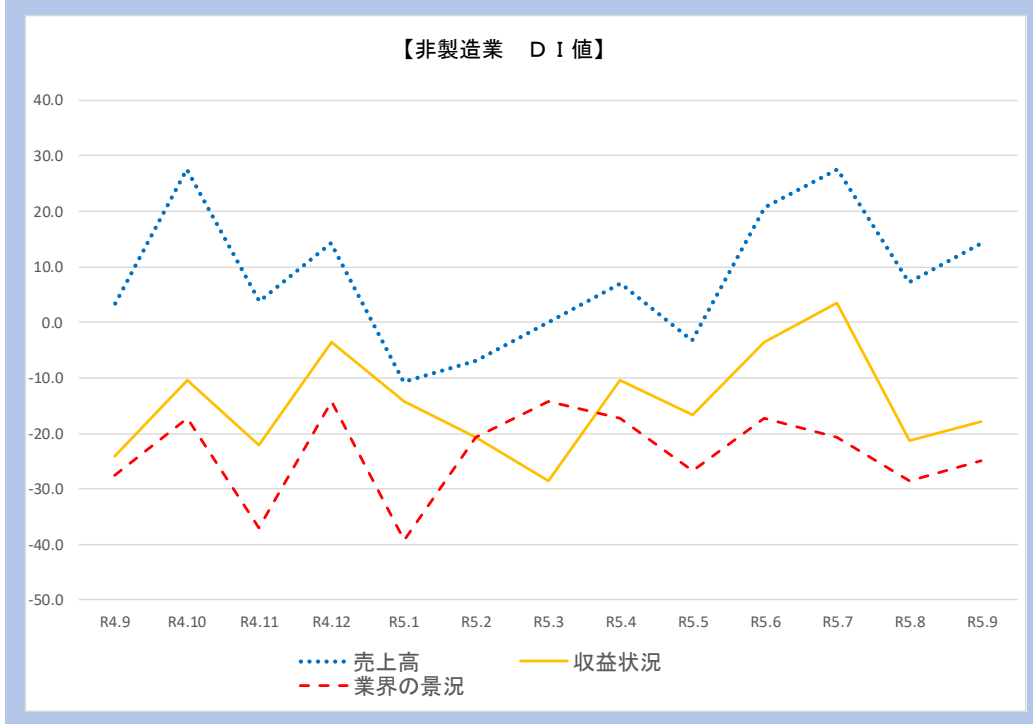
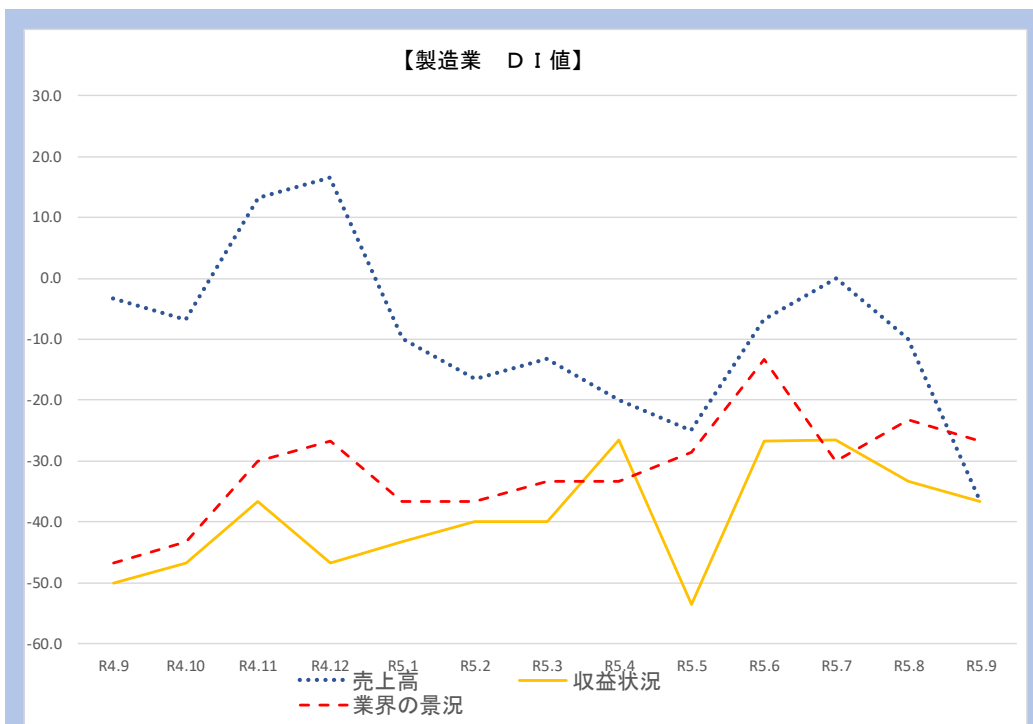
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2022年9月期～2023年9月期までの推移

全体	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
売上高	0	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1
収益状況	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6
業界の景況	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8

製造業	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
売上高	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7
収益状況	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6
業界の景況	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7

非製造業	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
売上高	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3
収益状況	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9
業界の景況	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0



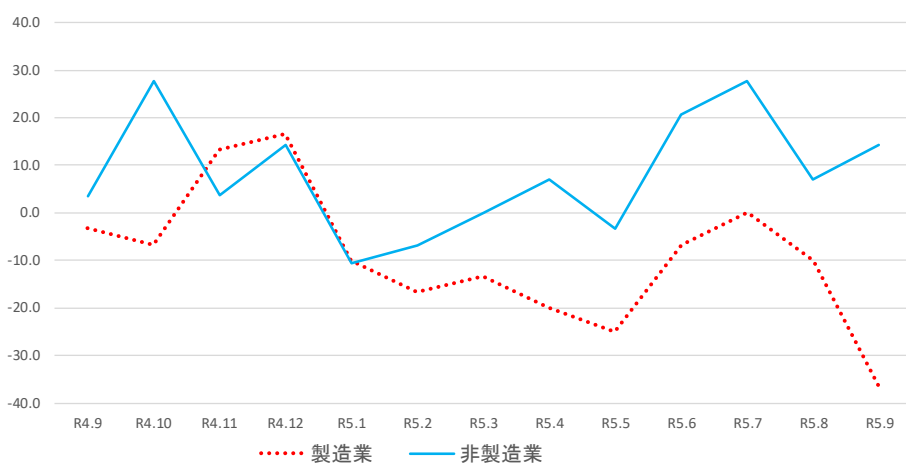
■ 2022年9月期～2023年9月期までの推移

売上高	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
製造業	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7
非製造業	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3

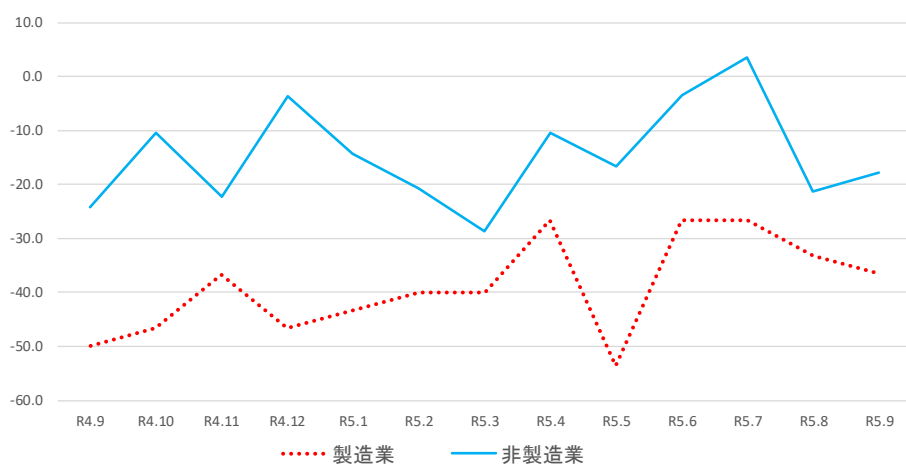
収益状況	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
製造業	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6
非製造業	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9

業界の景況	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
製造業	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7
非製造業	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値】

